

北欧？の雪原はゴクラク気分

木村佳司

北欧の杜スキーオリエンテーリング大会 2010年2月27-28日 秋田県北秋田市

平坦な雪原と森。北欧にやってきたぞ！ え？秋田県？

2010年2月27-28日 秋田県北秋田市
北欧の杜スキーオリエンテーリング大会



「北欧の杜」を滑る堀江守弘 (Blue Tag)
今回も圧倒的な力を見せつけた。
他選手の奮起を期待したい。

スプリント競技結果 2月27日(土)

ME			
1	堀江守弘	BLUETAG	0:13:33
2	高橋善徳	みちの会	0:14:40
3	黒田幹朗	横浜 OLC	0:15:49

MA			
1	畠山幸則	北欧の杜 WG	0:14:51
2	木村佳司	長野県協会	0:15:00
3	智田真人	秋田市	0:17:10

WA			
1	羽鳥咲和	川口 OLC	0:20:35
2	羽鳥亜希子	川口 OLC	0:30:30

B			
1	村上賢一		0:13:16
2	渡辺綺羅	愛宕小	0:22:29

ロング競技結果 2月28日(日)

ME			
1	堀江守弘	BLUETAG	1:07:33
2	高橋善徳	みちの会	1:20:15
3	酒井佳子	Team Ski-O	1:25:07

MA			
1	山田一善	多摩 OL	1:06:24
2	畠山幸則	北欧の杜 WG	1:06:25
3	小林岳人		1:09:28
WA			
1	羽鳥咲和	川口 OLC	1:07:11
2	羽鳥亜希子	川口 OLC	1:24:28
B			
1	村上賢一		0:28:21
2	荻田育徳	OC△下野	0:34:13
3	渡辺綺羅	愛宕小	0:51:51
N			
1	浅利ムーラン		0:46:06
2	高橋美和		0:52:34

北欧の春

スタートフラッグから突然開ける風景。そこは一面の雪原だった。広大なオープンと平地林が点在する「北欧の杜公園」で、まずはスプリントのレースが行われた。

なぜ「北欧」なのか？確かに公園内は北欧のような平坦地ではあるが、植相は日本風の植林された杉林だ・

レース時は春を思わせるような暖かな快晴。しかし季節外れに降った前日の雨の影響で雪質はかなり柔らかくなっていた。非圧雪部分を直進するときにはスキーワークが難しい。

初級者にオススメ「北欧の杜」

今回参加した「北欧の杜」大会は初級者に超オススメ大会の大会だったと感じた。

理由その1: ラクラクアクセス。羽田空港を離陸して2時間後にはもう滑っている。早割を使えば交通費は安い。大館能代空港(秋田北空港)からわずか3kmの場所だ。東京からは行きも帰りも渋滞知らず。

理由その2: ゆったり準備。トレインとなる北欧の杜には立派なセンターハウスがあり、競技の前後もゆったりとできる。

理由その3: ラクラクスキー。トレインはほぼ平坦地。ここには怖い急斜面が殆どない。スキー技術がなくても、楽しいオリエンテーリングができる。

迷っても周囲が道路で囲まれており、遭難の危険はない。雪崩とも無縁の安全な平坦地だ。白銀の世界を安全に快適に探検できる場所が「北欧の杜」なのだ。

秋田初！本格的スキーO大会

意外ではあるが、本格的なスキーO大会の開催は秋田県では初めてだ。この開催にあたっては、秋田県オリエンテーリング協会の協力に加えて、北東北地方のスキーO愛好家が多数協力している。また前週に同じ会場にて開催された「北欧の杜ウインターゲームス」のメンバーの協力もあったと聞く。

多くの地元メンバーの協力で素晴らしい大会となり、運営者には感謝するとともに、次回開催も期待したい。

堀江・酒井の2枚看板健在

昨年北海道で開催された世界選手権でも活躍した堀江守弘がここでも強さを見せつけてスプリント・ロング競技ともに優勝。特にロングでは他を圧倒するスキーの速さを見せ、ぶっちぎりのタイムを叩き出した。女子の酒井佳子は男子選手権クラスに参加しながらもスプリントで4位、ロングではなんと他の男子選手を押しつけて3位に入賞の大健闘を見せた。



酒井佳子。スプリント競技のスタート。日本女子では今や孤高の存在。男子選手と切磋琢磨することで技と力を磨いている。

強いぞ地元メンバー

木村は男子選手権のひとつとなるMAクラスに参加。大きなミスもなく、そこそこスキーを滑らせてフィニッシュすることができた。2分前にスタートした三澤氏を追い越すこともできたし、もしかしてMA優勝か？との期待が一瞬頭をよぎった。しかし「北欧の杜ウインターゲームス」の畠山氏のほうが数秒私より速かった。

殆どオリエンテーリングの経験がないはずのメンバーであるが、あっさりこのタイムが出せるほどスキーが上手いのだ。

ロング競技では、目まぐるしく変化する雪質に翻弄された。昨日のユルい雪が朝にはカチカチ氷になっている。それがレース中にみるみる変化してゆく。日陰になる森とオープンとで雪の硬さが違う。そんな中を怖々と進めばスピードは出ない。

滑ることに気を取られているうちにやってしまった。信じられないようなパラレルエラー。簡単に見えるスキー0のコースだが、実際にはマップコンタクトのタイミングとスキー滑走のバランスが難しい。この阿吽の呼吸は修行を積みねばならない。

(木村佳司)

素晴らしいコースを堪能

和久田裕介
スキー0の大会に初めて参加させていただきました。長く雪のある環境に住んでた割には（藤島注：彼は北海道大OBです）、スキー0はおろかクロスカントリーの経験も殆ど無いに等しい状態の参加でしたが、素晴らしいコースで楽しむことが出来ました。

ただ2日間とも時間がかかり過ぎてしまいましたので、来シーズンは、そこそこのタイムが出せるよう練習したいと思います。

(和久田裕介)

スピード感が魅力

藤島由宇
この日の為に昨年末に道具を一式揃え、小千谷スキークラブの関清さんに指導をいただきながらスキーの練習をして参りました。

自分が動かなくても、下りなどでは勝手に滑ってくれるのが楽でいいですね。フット0では味わえないスピード感や真っ白なテレインの景色も、スキー0ならではの魅力だと感じました。私も折角新潟に住んでいますから、もっとスキー0仲間を増やしていきたいと思っています。

(藤島由宇)



初めてのスキーオリエンテーリングに挑戦中の藤島由宇。

新鮮な風景

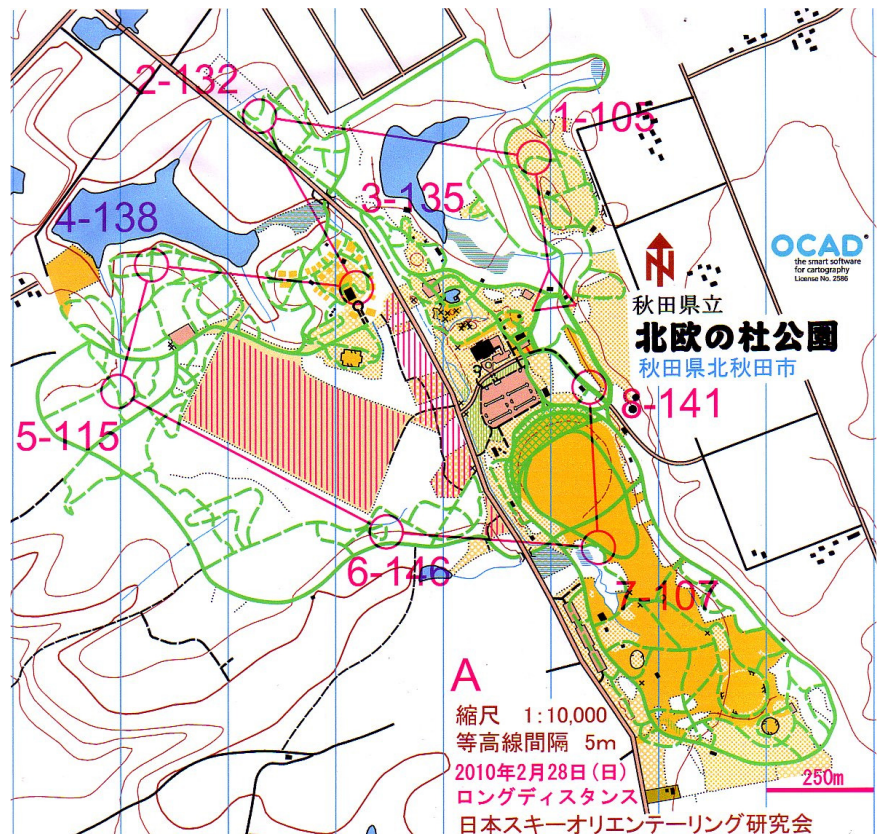
日下雅広



競技の説明を受ける日下（右）と説明する高橋美和（左）

初めてのスキー0は完走することで精一杯でした。スタート直後のテレインのコンディションは悪く、序盤は恐る恐る滑ることしかできませんでした。それでも気温の上昇と共に滑りやすくなり、後半は気持ちよく滑ることが出来ました。フット0では軽々と通り抜けていたちょっとしたヤブや溝が大きな壁に見えたのは新鮮でした。懲りずにまた挑戦したいと思います。

(日下雅広)



ロングディスタンスの地図。MEではMap交換で3枚の地図を使用する。見ての通り、平坦なテレイン。